

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(3) 将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか

○水道文化・水道技術の継承(その2)



研修・開発センターの施設（研修室）



大口徑配管実技場



浄水処理実習プラント



埋設給水管

給水管布設等実施エリア

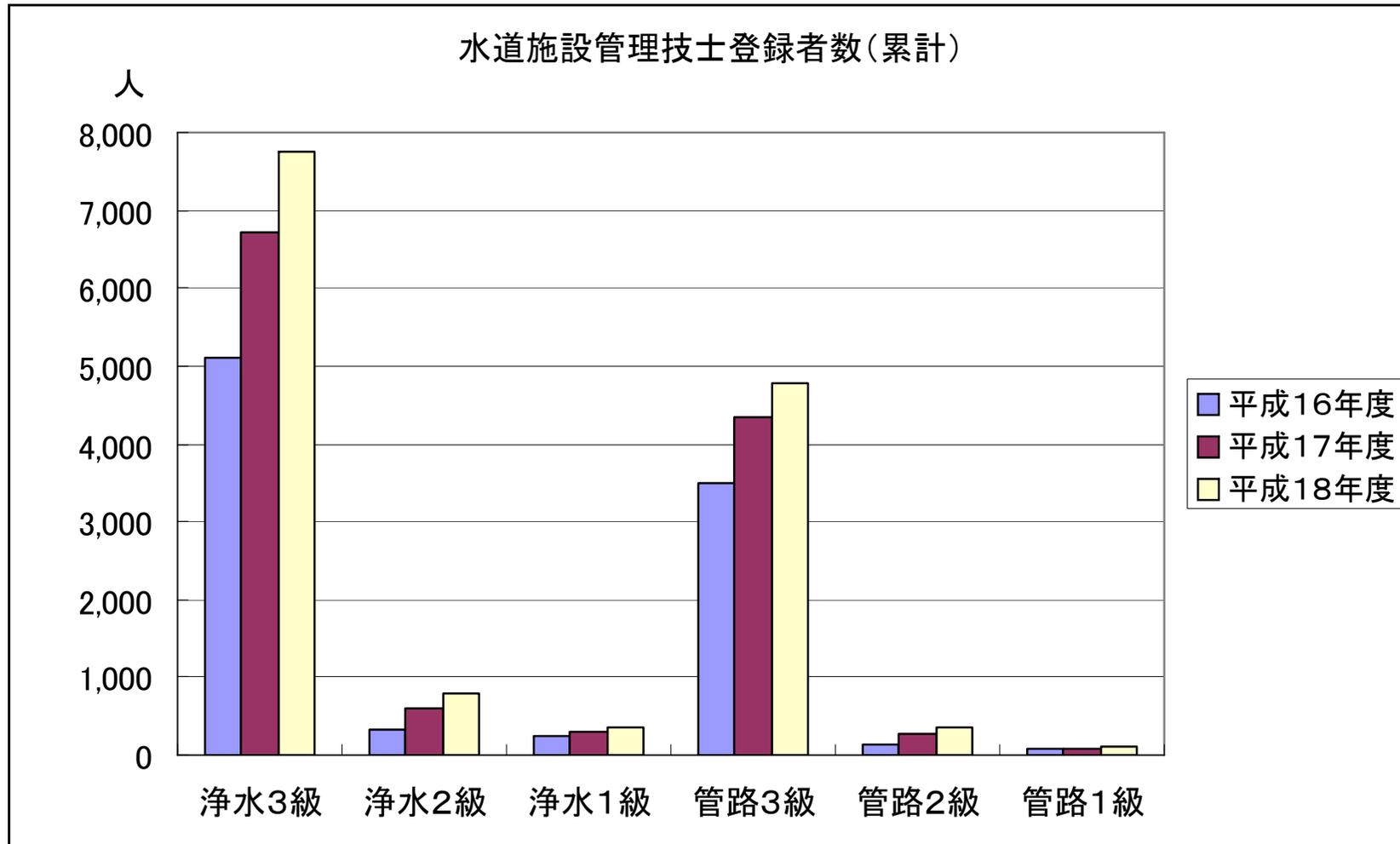
研修・開発センターの施設(実技フィールド)

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(3) 将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか

○水道施設管理技士数のトレンド



出典：(社)日本水道協会調べ

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(3) 将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか

○技術革新・技術開発について

技術開発の現状・課題と今後の方向

◆技術開発の必要性

- ・安全でおいしい水を求める意識が高揚している
- ・新たな微量汚染物質への対応等、最先端の知見が増加している
- ・特に土木、電気、計装、水質等の分野において研究開発、成果の共有が求められている
- ・効率的・合理的な施設運営、維持管理に直接結びつく新たな技術開発が必要とされている

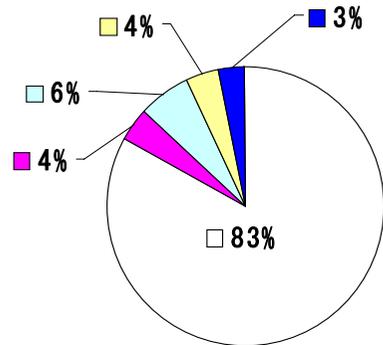


◆技術開発の現状

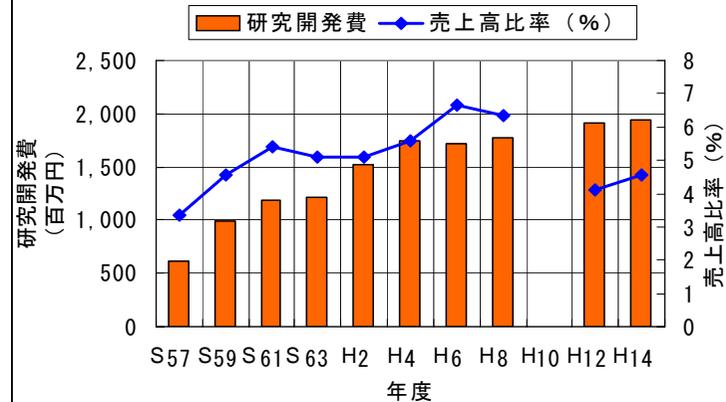
- ・一部の大規模事業者は、独自の体制を組んで調査研究・技術開発を推進
- ・大部分の水道事業者は、組織、人員、経費の面から十分実施されていない
- ・大規模事業者でも従事する職員の確保が困難で、外部機関への委託が多い
- ・地方の水道事業者では、産官学の共同研究にも思うように参加できない
- ・20～30代の技術者が少なく、また、技術者の退職、異動等により技術の継承が困難

大規模事業者の研究開発の形態

□ 民間へ委託 ■ 大学へ委託 □ 協会へ委託 ■ 民間と共同 ■ 協会と共同



水道関連分野民間企業の研究開発費



注：平成10年度のデータは欠測

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(4) 水道は環境保全などの社会的責任を果たしているか

○ 電力使用量及び原単位の推移

